夕刊
磐城新聞
十月九日發行
定價 一ヶ月金六十五錢（郵税拾五錢）
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）

『短歌私鈔』に現れたる 愚庵研究（其四）

島田忠夫

（承前）

○

明治三十三年八月に清水の庵を捨てて、桃山の南麓皆月の森の處の谷間の上手に庵を建てた。その時の歌である。

愚庵すでに腎を病み、体も弱り、清水邊は人通りが多くて、喧しいと思つたからである。愚庵は淡々と連作の歌を作つた。そして如何にも樂に、一氣呵成に、數十首の連作の歌を作つた中には隨分、平凡な、俗人らしい歌も交つてゐるが、是等の歌は蒼古勁健の調べをなして、いさゝかも浮華の氣がない。一体、愚庵は一面は才華の人である。一面は感傷の人である。それゆえ是等の歌を見ても、その才華を窺ふ事が出來る。明治三十年頃から、この才華を包むに寂を以つてし、歌に厭味が無くなり。平淡に、然かも清新に、滋味のある尊い歌をのこすに至つた。

かういふ、天然直寫のうちに自己の生命を表はした歌は、愚庵の歌の主な特徴をなしてゐる。明治三十年頃は、明治和歌革新の運動のぼつ興した時であるが、今から見れば、未だ未だ幼稚である。明治三十三年頃でも、未だ斑らで、純な境には至らなかつた。竹の里人の歌でも、明治三十四年頃からが純な萬葉調の歌になつたのである。愚庵の歌を見るには、時代の背景を考へに置かねばならない。愚庵の連作は曙覧や、竹の里人の歌から暗示を得たとも考へられる。『鳴門觀濤歌十四首』といふのがある。左に數首抄錄する。

淡路島三原松原潮ゆけば衣は濡れぬ松のしづくに

時つ風福良の浦ゆ船出して鳴門渦潮我は見に來し

遠つ人雁の飛島刈藻島鳴戸の瀬戸の烏帽子島見ゆ

うづ潮は早しかしこしかぢとりて急げ舟人おほろかにすな

音にのみ聞きし鳴門の渦潮の渦まく瀬をも漕ぎ渡り見つ

漕ぐ舟を呼ぶは誰が子ぞ鳴門崎刈藻の島の海人少女かも

早つ瀬をい行き憚り海人小舟むやの水門にこぎ果つる見ゆ

無論、萬葉集の影響もあり、固有名詞の連續で作り上げた歌のやうに見えるが此程まで一首が緊張するやうには、なかなか讀み難い。たゞ、愚庵の歌は、良寛の歌に比して、少し燥急であり、粗笨である。又聖き稚さがない。又しみじみとした妙境がない。しかし強く急に推して行く所は、愚庵の歌に多く見當る。（短歌私鈔）

祭

（童謠詩）

原田小太郎

さじきの上に
枝垂れて
合歡はほのぼの
匂つてる

祠にあげた
繪行燈
都の書家が
かいたとよ

呼聲たかく
大門に
アイスクリームも
賣つてます

秋の花

矢吹紫水

秋風の立ちていよ／＼美しく咲ける花かもダリヤの花は

今日の雨強く降らねどけふの雨惜しくもこぼす白萩の花

大方は散りこぼれたる白萩の花に飛び交ふ蜜蜂二三

サルビヤの花の紅眼に泌みてすがしき朝の太陽を見る

旅に逢ひし少女忘れず富士見ゆる野邊に野菊摘める少女を

時代警語（鷗外）

○若い時にはこの死と云ふ目的地に達する迄に自分の眼前に横はつてゐる謎を解き度いと痛切に感じた事がある、その感じが次第に痛切でなくなつた。次第に薄らいだ。解けずに横はつてゐる謎が見えないのではない。見えてゐる謎を解くべきものだと思はないのでも無い。それを解かうとしてあせらなくなつたのである……………（分身）

一日一禪

10月10日

△日本銀行創立開業（明治一五）△桂太郎公薨ず、前内閣總理大臣大勳位陸軍大將、圓轉滑脱の政治家として世人之れを稱す（大正二）△ヘンリー生る、英國の化學者にして算數家、電氣學者にして天文學者也、人呼んで『化學界のニュートン』と稱讃せり（一七三一）

○

山鳥時來歌一奏
山猿輕跳伎絶倫

拈華微笑

日本一も事により爲だ、家賃の高いなんか自慢にならぬ ◇ 中央市場に馳驅する石城梨子。味ひありの實か ◇ 新聞にも書き切れぬスポーツ界の賑かさ。秋だ ◇

南町へも行かず一寧丸を腫らした旅の煙突掃除屋 ◇ 蕭々として秋を染め出す雨寂し ○……○

講談 俠艶 女長兵衛

東京 斯波南叟

（魚崎潮畫）

（三六）

奥に居た虎の熊五郎 熊『なんだ／＼ナニをガタガタしやがるんだ』出て來て見ると此の始末 蝶『ヤイヤイ子分の奴等、ドどうしやがつたんだ』蝶『オ・其方は熊五郎か』熊『ナニ』蝶『熊五郎に用事があつて來たところが、居合せた蛆虫共が無禮を働くから此の始末』……恐ろしい奴だ、俺達を蛆蟲にして終やアがつた……子分達は泣ッ面、熊五郎も此奴油斷がならない奴と思つたから、少し穩かに 熊『熊五郎たア俺の事だ、たまへはどこから來なすつた』蝶『拙者は根岸御行の松に住む、花井長兵衛と云ふ奥州邊の浪人だが、熊五郎は其方に相違ないか』熊『何を云つてやアがる、虎の熊五郎が二人あつて堪まるか、用とはナんだ』蝶『愈々熊五郎に相違なくば掛合ふ事がある、昨夜深更入谷の善八店喜助の宅より丸八の娘お露と云ふを無法に連參つたそうだが、其お露を連戻しに參つた、娘を是れへ出せ』熊『ヘンナの用かと思つたらそんな事か、篦棒め一旦連れてきたものを誰が無闇に返すものか用は無い歸れ／＼』蝶『人の娘を淩つてきながら、只返さぬとは無法至極、花井長兵衛が出た上は、返さぬと云つて其儘戻らうや、達て返さぬとあらば腕で連れて歸る、どうあつても出さぬか』相手が無法に出るから、お蝶の法でも勢ひ無法なことを云はなくてはならない』熊『誰に向つてそんな熱を吹くのだ、是の三河島の熊五郎は、こわもて坏で尻込みする人間でねへ、愚圖／＼ぬかしやアがり、畳んで終うぞ』蝶『是れは面白い、畳むとはナニを畳むのか、紙やふのりではなし、然う手輕に人間の始末は着かぬ、若年者と侮つて後悔するな』熊『後悔はそッちで勝手にしろ、ソレ野郎達……』熊五郎の家には四五十人の荒くれ男がゴロッチャラしてゐる、最前から店がゴタ／＼する容子だから、二階に居た奴等が皆ゾロ／＼と降りてきて甲『なんだ／＼親分、おマヘさんが手を下すまでもねへ、わつち等にお任せなせへ、サア來い野郎』中の五人と云ふもの大刀をズラリ／＼引拔いた、外の奴等は皆合口を拔く……おれも斯うなる事は覺悟のまへだが、眞剣と云ふのは初めてだ、花房の道場で腕は鍛へて居ても、イザ眞剣となると大分勝手が違つて來るから、大事に大事を取る、斯んな奴を相手に此方で刀を拔くのは大人氣ないとは思つたが大事を取つた爲め刀の柄に手を掛けた、併しお蝶は上り口に立つてゐる、入口は九尺の土間だ、九尺の土間では迚も働きは出來ない、表へでれば廣場だから譯はないが、斯う踏み込む以上は敵に後を見せ度くない、受付の左手はズーッと廊下になつてゐて、其處へ多くの人が立はだかつてガヤガヤしてゐるから是れだなと思ふと、バット刀を拔いてバラ／＼と廊下へ飛上る○『あッ拔きやアがつた、サア來い』と云つたが、おテフの飛上つたのはまつたく飛鳥の如くで、いきほひが凄さまじかつたから、其勢ひに呑まれてバット左右に開き道を明けた、おテフは廊下へ躍り出ると其儘庭へ飛降りテフ『一人二人は面倒だ、皆一諸に掛つて來い！』乙『何んだと、息の根が止まつてからは物を言へないから今のうちにタント喋つて置け』子分の奴等も續いて飛降り、おテフ一人を中に取込めてグル／＼と四方を取卷く……熊五郎は椽先に突ッ立ち 熊『是れ能く聽け、此の熊五郎様に楯を突くと云ふなア、江戸の様子を知らねえ餘程の唐變木だ野郎共、バッサリとやるなチク／＼と傷を付けて手足の利かねえ様にして遣れ、見たところ度胸骨は好いやうだ、改心すりやア子分にしてやる、聽かざア嬲り殺し其積りでヤワ／＼と な』とは熊五郎も大した親分の氣で居る。

矢吹義一、阿部保三、富田郁郎、綠川浩行、綠川重春、岡部恒雄、小野常廣、新妻重男、永島友貼中島利夫、吉田伴四郎、菅田甫、矢代弘文、鈴木三郎、蛭田忠吾、犬山善司、平松光夫、（高等科）木村康一、平井鐵三郎、齋藤弁、吉岡健一、鈴木辰雄、鈴木貞三酒井貞良、箭内重利、大垣退衛、吉田政雄、松本敏己、大塚辰雄、田中忠芳、木村安三、石井實、佐藤哄藏、渡邊芳明、渡邊健治、菊地義雄、渡邊浩、日野喜富、後藤利男山崎義雄、阿部健治、青木敏、吉川滿左男、小川直一、石川源四郎、渡邊貞壽、武井正夫、引地鶴雄、富田芳郎、齋藤兵策猪狩五郎、五十嵐藤作、水庭寅夫、鈴木繁彌、天下井勇明、山野邊利正、野澤正雄

鐵道弓道大會

○○○○○

平鐵道倶樂部弓道部では來十八日午前九時から同弓場で第二回競技大會を開催するが競技は本射（尺二的十二射）で餘興射詰（尺二的）金的（一光）揚的であると

清潔法日割

平署管内秋季清潔法執行日割は昨八日の衛生主任會で左の如く決定した

△十一日湯本、入山△十三日平窪、鹿島、湯本、内郷△十四日高久、小田炭礦、白水方面炭礦、澤渡△十五日三坂、赤井、江名、飯野△十六日夏井磐崎、玉川、好間、永戸△十七日神谷△十八日磐城炭礦、小名濱、上下小川、平町△十九日箕輪△二十二日豊間△二十五日福島炭礦、好間炭礦

平商野球部

リーグ戰を前に猛練習を續く

平商校野球部では此の程磐中の新チーム一二年を十二對一で屠り目下來る十七、八日の磐陽野球リーグ戰に出場すべく猛練習中であるがメンバーは次の如し

投捕一二三遊左中右
坂邊原藤野　本木田
赤渡菅佐星森根鈴沼

庭球

福島宮城茨城三縣聯合

廿五日魁文堂主催

魁文堂主催の福島、宮城、茨城三縣聯合庭球大會は來二十五日午前九時より磐中コートに於て開催すると

磐中發火演習

磐中四、五年級四百五十名の發火演習は來二十三四の兩日八谷配屬將校國分、小松、庄司の各教諭に引率され四ツ倉方面にて行ふが二日目には一、二、三各學年も參加すると

八チーム主將會議

磐陽野球後援會主催の第二回秋季大會に際し明十日午後七時から平町マルトモホールに於て加盟八チームキヤツプテン會議を開くと

平第一校 ド球選手

明後十一日午前十時より磐中校庭に於て開催される縣下兒童ドッチボール大會に參加する平第一校の選手は次の如くである。

（五年）草野保高、小林正久、池園忠知郎、矢野弘一、中川信、森下繁雄、

教育部會役員會

ロロロロロ

石城郡教育部會の役員會は來十四日午前九時より平第一校で開催郡内小學兒童競技會に關して協議すると

磐炭土俵開き

○○○○○

磐城炭礦の角力大會は十一日の公体

ラヂオ

十日（土曜）

仙臺JOHK

△前六、三〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理献立（スタフドトマトマヨネーズソース）磐井たす
日用品値段
△一〇、三〇A 家庭講座（衣服調製及整理に就て）庄司洗豐
△正午A 時報
△〇、〇五A 新日本音樂（湊の灯、おさながち、馬子唄）
△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△二、二〇 六、〇〇A 運動競技（雨天順延）（秋季六大學野球リーグ戰試合狀況…明立二回戰）
△二、三〇A 經濟市況
△三、四〇 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A 經濟市況
△四、一〇B（大阪大角力狀況）
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇A（子供の時間）童話（犬の行衛）樫葉勇
△六、三〇A 英語講座（中等科）トーマスライエル
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 生繭相場 番組豫告

日蓮の夕

△七、三〇A 講演（日蓮聖人の宗教）日蓮宗管長大僧正酒井日愼
△八、〇〇A 長唄（七面天女）
△八、三〇A 俚謠（一、身延音頭 二、法華經音頭 三、題目踊 四、立笠踊）
△九、〇〇A ラヂオドラマ（法難の一節）坪内逍遙
△九、三八A 帝展入選者發表
△九、四〇A 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告 生繭相場

夏期氷水相營み候節は皆樣の御贔負に預り御蔭にて誠に良好の成績を得候段厚く御禮申上候
就而は近頃蒲鉾の原料も相見え候に付近日より相初め候に付多小に不拘御用命の程御願申上候　敬具
蒲鉾類仕出し
御祝儀用鰹節
御惣菜薩摩揚
二丁目
藤市蒲鉾店
電話三〇五

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先（マッサキ）ニ（松崎（マツサキ）ニ）
三九二（ミクニ）タクシーへ
（デンワ、ミクニ）

秋冬衣絹綿布大賣出し
十月五日ヨリ七日間
三十年以來の新安値 大暴落品!!!入荷
御婚禮用品秋冬衣最新柄を豊富に取揃へ大廉賣可仕候……是非御用命願上ます
御婚禮花嫁御衣裳特賣
松 江戸褄 白紋羽二重下着 丸帯 緋紋羽二重襦袢 金四拾五圓
竹 江戸褄 白縮緬下着 緋縮緬襦袢 丸帯 金七拾圓
梅 上等江戸褄 白縮緬下着 丸帯 綸羽長襦袢 金九拾圓
京染無料 紋ニユーネス、山繭御買上の方にお好みの色を別染致し升
白生地特價 紋ニユーネス 一三、五〇 白繭 二三、五〇
小紋錦紗 八圓ヨリ
金波羽織無地 七圓五十錢同
村山大島 六圓五十錢同
本場銘仙 三圓同
銘仙夜具縞 三圓五十錢同
仙臺平袴 金拾圓ヨリ
黒羽二重紋付 金八圓同
縮緬紋付 金八圓同
高貴織 金四圓同
三河正紺縞 五十八錢より
紺織 八十八錢同
木綿裏地 四十五錢同
正紺フトン縞 五十錢同
正花裏地箱入 七十錢同
新柄着尺モス 二圓九十錢
綿ネル（白、時一丈モノ） 五十錢
ニコ／＼絣 八十錢
瓦斯大島半天地 四十五錢
☒吉凶御引物は特に廉價に御願ひ申します
三井呉服店
電話三八番 二八四番

菓子製造見習募集
年齢十五歳ヨリ十七八歳迄ノ者
四五名募集ス
身体壯健、身元確實ナル者ニシテ保証人ヲ要ス
希望者ハ履歴書ヲ送附照會アリタシ
東京日暮里町金杉二三五二番地
（日暮里町改正大通リ三河島驛踏切際）
製菓問屋 村松商店製菓部

池坊龍生派 石城郡華道 龍生會本會創立
平町華道教授正木旭松女史ガ最モ熱心ナル門弟一同ト一致協力シ斯道發展ノ爲め石城郡龍生會ト稱スル一團体ヲ創設シ近日發會式ヲ擧行ス
相互ノ親睦ト意志ノ交換ヲ目的トシテ細心精密ニ立華生花ヲ研究可致ニ付多數御希望者ノ御入會ヲ歡迎ス

外科 内臓外科 整形外科 外科一般 醫學士 松永憲一
産科。婦人科 院長 木村寅次郎
平新川町十九
木村病院
電話一六四番

吉田眼科病院
平町紺屋町

店子受難
東京市内を除いては日本一高い平の家賃
辯解の除地無い數字を並べ永年虐げられた体驗を叫ぶ

些か過激に亘るので犀利な筆致で描き出された前提の大半及内容の一部をカットするを遺憾とするが『磐城址三日月鹿之助』なる投書子は此程平町に於ける貪婪飽く無き一部家主の存在を呪ふ一文を寄せた。時節柄それらに對する反省の資料として其の骨子を抄記する。

二三割の物價低落に家賃は八分餘の値下

平町の家賃は日本一の暴利である。昭和三年一月を基準として日本の物價指數は三割乃至三割の値下である（政府發表）平町の家賃は八分三厘の値下りである、のみならず家賃の徴收を店子にやらせると云ふ事は名目の如何を問はず不當だ。併も家賃外の金額を徴收するとは何事である此の巧に徴發したる金額を年一回無利息にして清算するとは金利の詐取である、今日平町の大家が疊一疊に付き九十五錢も家賃として徴るべき家作があるか否かに就き少し吟味して見る必要がある警視廳の統計が放火犯人の五〇%迄は家主であると云ふ奇怪な現象は何を物語るか

一疊九十五錢の高値で
―十年の銷却後を丸儲け

家屋の壽命は廿年十ケ年として銷却するが普通である十坪建の家屋築造費は現今武百圓で足る十ケ年の銷却と見て疊一疊月八錢三厘の原價だ。地代家屋稅其他諸雜費を同額と見積つても十六錢五厘利益を見て二十錢位が最も妥當で後の十年は丸儲けである、然るに疊一疊九十五錢とい天下に斯くの如きを强慾非道と云はずして何をか言はんやだ、試みに昭和三年一月より十坪建の借家住ひをした者は本年十月迄に六百六十三圓也を大家に支拂つてゐる。筆者の最も穩當として計算した額で行けば百三十六圓で文句は相方にない筈だ差引五百二十七圓は奉納か獻金か詐取されたか頭の良い人間には一寸解し兼ねる、世間もそれなら妥當だ家主も自ら妥當だと認めた十ケ年銷却等は狂人の計算だとなる、それで苦情が出なければ世の中も人間の頭も餘程ひねくれて居ると申すより外ない（中略）

奉納か獻金か
無料で家が建つ
不合理極る實例

家主が火災で家の燃へるのを喜ぶ之れを不思議に感ずるのは頭の狂つてゐる正直な店子ばかりであらう、店子が奉納して呉れた金で家作を保險に附し元も子もとつて了つて始末に困る家だ燒けると無料で家作は四五軒も建つ、不慮の災害も彼等には實に有難いものだ、まさかと思ふが事實の場合があるから仕方がない（後略）

雄辯な統計
各方面との比較

區分	平家	二階（二疊）
東京市内	一、四五	一、五〇
東京市外	八四	七三
昭和六年一月社會課調査		
福島市内	五〇	五四
會津市内	四三	四〇
福島縣下	二六	二五
平町	一、〇八	八三

福島市は市社會課調査、他は商店各五十戸、住宅各五十戸を調査し平均せしもの

熱情を傾けて
若き男の子は叫ぶ
けふ磐中で辯論大會

磐中辨論部では今九日午前十時より同校講堂に於て郷友會聯合雄辯大會を開催したが選手及演題次の如くである

（◎印郷友會入賞者）

リンカーンに學ぶ一年坂本正一、第二の秀吉を望む同猪狩勝己、我等少年の覺悟村山讓二、偉人を想ふ同鈴木節長、偉なる哉時の光同島崎英美、孝同佐藤傳、打てよ自覺の警鐘を同武田恭三、桃太郎を清算せよ（童話）二年栗城映、辛抱は人格を作る同北郷雅光、心の眼を開け同佐藤篤、偉人篤胤を想ふ三年田崎二郎、自然に還れ同後藤俊雄、偉人は農村より同會川寅次郎◎デモステネスに就て（英語）尼子橋會三年富田俊雄、雄辯の價値三年上遠野勝、愛情を吝む勿れ同芳賀他郷、青年よ黎明の鐘は鳴る（英語）◎双葉會大須賀章、自己の使命を知れ三年橋本健壽、義人勝爲を慕ひて同中野德郎、苦惱の世界より安住の世界に平商高橋薫君◎二人の偉い發明家（英語）双葉會猪狩常彦、力四年國王喜輝、◎滅び行く亞細亞に一縷の光を求めて三郷會松本桂、◎支那とは何ぞや（英語）五年遠藤親夫、流れ出づる前に五年岡田健治、朗らかに生きんが爲に平商高野嚴君、劍に聽く五年石倉道朗

採點結果

1松本桂、2大須賀章、（英語）1遠藤親夫、2富田俊雄、3猪狩常彦

後藤、駒場、松本、大谷（傳）、佐藤（嚴）

縣聯合青年團主催 体育大會
善戰健鬪を期する郡下二十名の選手

縣聯合青年團主催の第八回体育大會は十一日白河中學校庭で開催されるが郡下の選手は左記二十名と決定明十日午前八時五十分平發列車で小名濱小學校長西山氏監督引率の下に出發する事となつた

百米草野仁（小名濱）四百米大谷岸雄（内郷）千五百米泉美一（好間第一）二萬米工藤一郎（内郷）走巾跳佐藤兼介（泉）走高跳瀧田武二（四倉）砲丸投佐藤兼介（泉）八百米リレー瀧口今朝吉（内郷）西田武夫（湯本）石田仲六郎（平）山内龜代司（草野）草野仁（小名濱）劍道高橋清壽（飯野）田子三郎（三坂）尙正三（植田）柔道林恒男（好間第二）中根武夫（小名濱）志賀傳吉（神谷）相撲鈴木福太郎（豐間）根本勝吉（小名濱）吉田朔次郎（泉）

神宮競技に參加
磐中を代表する庭球の篠原鈴木兩選手

磐中庭球部では來る神宮競技に參加すべく目下練習中であるがタブルには篠原欽司、鈴木正の兩君シングルには篠原君で同君は去る日本軟球聯盟主催の全國中等學校選手權大會に於てシングル戰の準決勝に惜敗した同校切つての名選手である

平町新風景

記事輻湊休載

後任村長
あす大野村で詮衡

大野村に於ける後任村長詮衡の協議會は明十日開催されるが村治の大局から觀て各村議間の黨同成異的感情も前回の如く險惡ならず或は案外圓滑に適材を擧ぐる事になるでは無いかと觀られて居る

平撞球軍入山遠征
けふ五時から

平町に於ける撞球同好者十數名の一團は今九日午後五時から入山倶樂部に於て中村豐氏外同社職員と一大接戰を試みる筈であるが平側の顏ぶれ次の如し

織田（安）、織田（榮）、高木、大澤、安藤、佐藤、小林、山田、千葉、細谷

近來頓に昂つた石城梨子の名聲
中央市場の價格奔騰に地元活氣づく

赤井、平窪附近から生産される梨子、桃、葡萄等は各栽培當業者の自覺と當局の熱心指導により發達改善の跡近來頓に著しく年産三十萬さ註せらるるが殊に梨子に至つては年産六十萬貫に上り價格は年々高低常ならざる爲一定せぬが少くとも十二三萬圓を下らず今や中央市場に於ても石城梨子として名聲を謳はれつつあるがその出廻り期が恰も中央市場の王座を占むる富士梨子の最盛期を過ぎ品薄になつた處へ乘じ得る極めて惠まれた立場に置かれてあるので今年の如き地元に於て六貫入り一箱一圓二三十錢內外のものが昨今の中央市場に於ては優に二圓を以て賣買せられ當業者の收益少からざるものあるので之れが賣捌きの斡旋をなしつつある郡農會でも之に力を得て倍々出荷を奬勵してゐる

金風に誇る女性健康美
愈々十七日に迫つた
磐城高女 秋季運動會

磐女第十八回陸上運動會は既報の如く來十七日午前七時三十分より開會されるがプログラムは次の如くである

（午前之部）

1一〇〇米競走、2ドリブルボール、3四〇〇米繼走、4ハンドネットボール、5一〇〇米競走、6ドリブボール、7和蘭の子供、8四〇〇米繼走、9エンドボール、10一〇〇米競走、11縄跳ビ競走、12一〇〇米競走、13ハンドネットボール、14セットクワドリレル、15學年代表五〇米競走決勝、16四〇〇米繼走、17置換へ競走、18四〇〇米繼走、19蹴球競走、20小學校女兒一〇〇米競走豫選、21排球、22四〇〇米繼走、23置換へ競走、24學年代表一〇〇米競走決勝、25小學校女兒四〇〇米繼走豫選、26籠球、27排球、28マスゲーム

（午後之部）

29一〇〇米競走、30エンドボール、31四〇〇米繼走、32ドリブルボール、33クワマリンスカイヤ、34小學校女兒一〇〇米競走決勝、35一〇〇米競走、36ドリブルボール、37一〇〇米競走、38ハンドネットボール、39四〇〇米競走、40蹴球競走、41一〇〇米競走、42縄跳ビ競走、43小學校女兒四〇〇米繼走決勝、44學年代表三段跳走巾跳決勝、45四〇〇米繼走、46ハンドネットボール、47エヂプトダンス、48來賓、同窓生競走、49學年代表四〇〇米繼走決勝、50マスゲーム

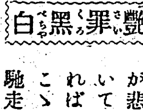
茨城縣人會
來二十四日夜谷口で懇親會

平町在住茨城縣人の懇親會は來二十四日午後五時から谷口樓に於て開催するが會費二圓で希望者はいはらき支局へ申し込まれ度いと

養蠶實行組合設立
平町關係者が決議

平町居住蠶業關係實行組合設立準備協議會は昨八日午前九時から平町會議室に於て開催した結果之れを設立する事に決定左の役員を互選した上一兩日中に登記する事となつた

名譽顧問伏見町長、組合長酒井猶次、理事青木甚平、鈴木惣五郎、鈴木藤一、鈴木盛彌、高野三之助



艶罪黑白

◇お客のかげに背中を丸くしていつまでも頭を上げない藝者連がある、ハテこの騒ぎの中に何が悲しくつて泣いてるのかと見れば、ナァンダこゝを先途と御馳走征伐『腹も身の内だぞ』と云つてやつたら『今に屁が出ればモット食べるワ』は凄げえせ

◇カト思ふと見榮なんかは何の鬱ブンをはらすつもりか、杯を置かずにフルスピードで運んで良い加減になると『オイお客た酌だんよ』と盃をツン出すんだから溜らない

磐中保護者會

磐中では六月から校友會費五十錢の二割を天引して一人十錢宛を保護者會費として積み立て縣費緊縮の爲め動きが取れず其の儘になつて居たカーテンの一部を新調し或は圖書室備付の書籍を購入する等夫々有益な方面の費途に充當してゐる

農業座談會
十二日好間村で

好間村農會主催の農業座談會は來十二日午後一時から同村會議室で開かれるが講師は平米穀檢査所木名瀨所長、郡農會橋本技手である

結婚詐欺公判
廿日平支部で

新潟縣三條町生れ根本新三郎（二九）が去る八月三十日湯本町旅館常陸舘事塙信人方女中泉村生れ神津てる（二六）を誘拐した結婚詐欺事件は平支部藤原豫審判事の手により審理中の處此程愈々終結決定來二十日公判開廷さる

故意の地租脫稅は
假借なく處罰する
平稅務署無屆移動地調査

過般來三名の專任の係員により着々進められてゐた平稅務署無屆移動地調査は此程愈々完了する運びに至つたがその件數は前年度第二回調査當時の一萬八千餘筆と大差無い見込なかるべきも原野或は山林を宅地とし乍ら地類變換の手續を怠つてゐる者などに對し之を課稅標準となす時は賦課上非常な差額を生ずるので其れを知り乍ら無屆の儘租稅の負擔を免れんとする者に對しては新法八十二條に依り處罰せねばならぬ事となるので同署でも極めて愼重な態度で調査中である

十三日例會

平町十三日會は當日午後六時からマルトモホールで開催するが水道部山下課長並に海老島技手の平上水道に就ての講演ある筈

石城酒出品
若松で縣下品評會

縣下清酒品評會は十三日から六日間若松市公會堂で開催されるが平稅務署管内からは平窪村銘酒『白馬の雪』醸造元松本德一氏外十名、二十三點を出品する事に決定した

借金を斷られ
三郎の大暴れ
遂に表沙汰となる

平町長橋町五二繭仲買商春吉次男小沼三郎（二二）は昨八日正午頃材木町八木炭商齋藤周藏方に至り金を貸せとねだつたが齋藤が應じなかつた爲矢庭に座敷に上り込み火鉢の灰を掴み出して家人の頭から振り撒いた外手當り次第に器物を投げつけ亂暴をなした事此程其筋の知る處となり今九日告發された

堀坂に强盗
直に捕へらる

内郷村字堀坂六五豆腐商太田照吉（三三）が昨八日午後十時半頃同村不動澤から活動見物の歸途堀坂地内に差し蒐るや物蔭から年齡二十五、六歳位勞働者風態の男が躍り出し金を出せと迫り山中へ連れ込まんとした處を振り切つて其場を逃れ綴請願派出所へ訴へ出たので平署で非常線を張り間も無く眞犯人として埼玉縣北足立郡青木村生れ鑄物職工沖田松男（二五）を取り押へた

藏出高減少
石城の釀造界

平稅務署管内の去月中に於ける清酒藏出高は新酒九百二十五石、古酒百八石、燒酎二十九石で之を昨年同期と比較すると合計で百八石の減である尙古酒藏出高は昨年より九倍に當つてゐるのは昨年の古酒持越高が非常に多かつた爲であると

怪穴を埋める
茂庭博士が指示

既報八幡小路配水池の怪穴はこの程來平した水道部顧問茂庭博士が檢査の結果堀鑿を中止して雨水を汲み上げ玉石を入れる事となつた

墓碑を轉がす

一昨七日夜四倉町字本町水野屋事長谷川好男氏所有墓地の石碑並に石燈籠等を全部道路に倒しあるを翌朝發見何者の處置か其筋で探査中

磐中に新風致

磐中講堂側中庭にある二十九回卒業生の記念樹木は此の程全部玄關前に移植を了したが今年中更に芝の種を買入れ玄關前に繁植させる筈

作場路の紛糾

小川村上小川農國井熊男は最近同村に轉住し自宅側作場路を遮斷する棚を廻らしたが該道路は數年前附近關係者江戸川初義外四名間に交通利便上絕對に妨害となるべき事をなさざる申し合せが出來てあつた爲前記關係者が再三その撤去方を交涉したが國井が之に應せぬので今九日關係者を代表し江戸川から交通妨害として平署に告訴した

ヂフテリア發生

好間村上好間小舘吉田安裕（二一）は昨八日ヂフテリアと決定隔

夫の搜索願ひ

東白川郡棚倉町二八坂田樂洋事坂田粂次は數年前から新派劇團木村秀郎一行に加はり地方巡業中であるが殘された妻みねは産後の肥立ちが惡く嬰兒も病弱で難澁してゐるからと九日夫の搜索方を平署に願ひ出た

平町人事

△出生

古鍛冶町三八上遠野村根岸橫道五七蛙田富士二男幸雄　五丁目一五吉田豐長女美智　古鍛治町九一安達郡二本松町二一水野虎三郎三男好一

死亡

田町五四吉曾孫島田トシ子（四）　紺屋町三西白河郡白河町金勝四一伊左エ門二女長谷川ノサ子（二二）

知らずに弄んだ毒草に禍さる
茶碗大の睾丸抱いて平署へ
漂泊の煙突掃除屋御難の巻

内郷村小島新町木賃宿山形屋止宿靜岡縣島田町生れ煙突掃除用ブラッシ製造業太田豐一（三〇）は一昨七日郡山から平町へ來る途中川前附近の路傍から綺麗な野草（實は桐に葉は煙草に似たるもの）を手折り途々弄び乍ら一里も來た頃通行の百姓からそれは恐ろべき毒草だと注意され驚いて捨てたが昨七日の早朝から睾丸が疼み出し見る〱飯茶椀大に膨れ上りおまけに左眼も眞赤に充血して苦痛に耐えられず方々を聞き合せたが誰も適當の素人療法を知る者なく醫師の診療を受ける持合せもないので同日午後十一時半頃平署に慈善醫療方を願ひ出た

京阪地方へ
磐中四年生
見學旅行手續中

磐中四年生約百七十名は梅森、大橋、山名、飯田の四教諭に引率され來十五日より一週間京阪神方面に修學旅行をなすべく目下縣に認可申請中である

不良車廢除
自動車檢査を嚴に事故の發生を防ぐ

自動車の發達に伴ふ事故の頻發は昨年の如き平署管內だけで二十四件に達し縣下の首位を占めてゐるので當局では之れが未然防止に就て嚴重な警戒を拂つてゐるが之の原因はブレーキの不完全其他運轉機能の不良より來るもの多く毎年檢査ごとに之等不良車を處分し來つたが最近再ぞろ不良車が跳梁し始めたので來月四日縣下一齊に行はれる檢査には一としほ嚴重を以てする方針であると

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
病室完備
（電話　一二九）